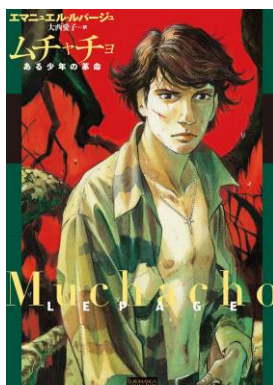
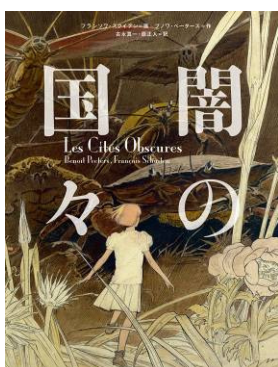


COMMUNIQUÉ DE PRESSE

アンスティチュ・フランセ日本が招聘した3人の漫画家（バンド・デシネ、以下BD）のうち、
フランス/ベルギー共作の作品が、第16回文化庁メディア芸術祭でマンガ部門・大賞を受賞

2012年11月、アンスティチュ・フランセ日本がBD作家を招聘し、国内各地で、トークライブや展示を行いました。小学館集英社プロダクションによる『闇の国々』の出版にあわせ、作者のブノワ・ペータース（作）とフランソワ・スクイテン（画）が、また、飛鳥新書出版によるユーロマンガ・コレクションでの『ムチャチャョーある少年の革命』の出版にあわせて、作者のエマニュエル・ルパーージュが来日しました。

この来日の直後、第16回を迎えた今年の文化庁メディア芸術祭のマンガ部門において、この2作品がそれぞれ大賞、優秀賞を受賞したとの発表がありました。さらに審査委員会推薦作品のリストには、日本語訳されたBD誌であるユーロマンガの『特別号追悼メビウス特集』、マルジャン・サトラピ『鶏のプラム煮』、ヴィンシユルス『ピノキオ』、シルヴァン・ショメ/ニコラ・ドゥ・クレシー『レオン・ラ・カム』がその名を連ねました。



この受賞は、日本の読者のみなさまが新たにBDに関心を寄せているという画期的な成功を意味しています。受賞の3作家は、アンスティチュ・フランセ日本が『読書の秋2012』の一貫として東京ビックサイトで共催した催し『海外マンガフェスタ』の特別ゲストとして参加していました。1日に1万人を超えるファンが訪れた『海外マンガフェスタ』では、ヨーロッパの多様なBDを発見して頂くことができました。

フランスのBDの出版の先駆者である小学館集英社プロダクションと飛鳥新社と共に、アンスティチュ・フランセ日本の数年に渡る日本国内でのBDの推進の功績が報われることとなりました。

日本の漫画史における転機を画したフランス/ベルギー合作の受賞を機に、さらなる日本の出版社の皆様がフランスのBDへの関心を高めて下さると確信しています。

2012年度の受賞作品は2013年2月13日から24日まで、国立新美術館にて開催される第17回文化メディア芸術祭にて展示される予定です。

関連リンク

[文化庁メディア芸術祭](#)

[『闇の国々』小学館集英社プロダクション](#)

[『ムチャチャョーある少年の革命』\(ユーロマンガ・コレクション\)](#)

[ユーロマンガ Vol. 7](#)

クレジット：

『闇の国々』/ Casterman 出版

『ムチャチャョーある少年の革命』 Dupuis 出版

『ユーロマンガ』 Euromanga 出版